11/7 Fri

研　究　校　**伊那市立伊那中学校**

共同研究者　**臼井　学**
（豊科南中学校 校長）

子どもたちはどう学ぶのか

伊那中学校の生徒は小学校までに学級総合や自然体験学習を通して、「やってみたい」という探究心を働かせた経験があります。その経験を中学校での探究につなげることを目指し、教師の仕組んだ手立ての中で生徒がどのように学んできたのかを見取ることを大切にし、研究テーマを「子どもたちはどう学ぶのか」としています。そして、目指す生徒の姿を「自分の学びを選択・決定し、自己更新する姿」としています。

昨年度の研究では、授業を考える３つの指標「課題・目的」「内容・対象」「方法・手順」を設定し、それらを生徒が選択したり、試行錯誤しながら決定したりできる授業を探究的な教科の学びとして捉え実践してきました。今年度は「探究」に加えて、「協働」、「UD 化」を視点とし職員グループを作り、共同研究者の臼井学先生からアドバイスを頂きながら研修を進めています。

また、探究活動「伊那中マイチャレンジ」は、生徒の「やってみたい」を出発点に自分でテーマを決め、自分でやり方も決め、自分でまとめ発表まで行う活動です。授業を考える３つの指標に当てはめると、すべての指標を生徒が選択・決定している活動と言えます。生徒の選択・決定を支えるために、１年生は学級やグループ単位で、プレゼンの作り方講座などを設定し探究の基礎を学び、その上で「ルーム」という異学年編成の希望分野別グループを編成し、テーマが近い仲間と相談したり、すでに経験がある上級生からアドバイスをもらったりできる環境を作りました。教師も生徒の探究を支える伴走者として、ヒントとなる選択肢を示したり、生徒同士の考えをつなげたりして関わっています。

公開授業当日は、「探究」「協働」「UD 化」の３つの視点をもとにした授業とマイチャレ発表会を公開します。参観いただいた先生方とともに、生徒の探究する姿について語り合える時間にしたいと考えています。

共同研究者 臼井先生から

伊那中学校の先生方は、子どもの好奇心や探究心を基盤として、子ども主体の学校をつくりたいと願っています。「探究」を視点とすることによって教科と領域が互いに高め合う存在となること、多様な子どもがともに学ぶ「学校」だからこそ「協働」「UD 化」が重要であることを、子どもの姿を通して学び合いたいと思っています。

～日 程～

① **参加者受付** 12：30～12：50
② **開会式** 13：00～13：10
③ **研究発表** 13：10～13：25
④ **マイチャレ発表会** 13：40～14：10
⑤ **公開授業** 14：25～15：15
⑥ **授業者と語る会・全体会** 15：15～16：20
⑦ **閉会式** 16：20～16：30

本文（ブックレット vol.144）.indd　11　2025/09/25　15:56:53